

新時代への架け橋として

本校は昭和20年に設立された能代市立能代女子実業学校にさかのぼり、秋田県立能代農業高等学校を経て、着実な歩みを重ね、平成6年に現在の秋田県立能代西高等学校に改変され、今年で創立74年目を迎える学校です。

誠実で真面目に一生懸命働くという校訓「勤労至誠」の精神のもと、私たち教職員は、将来、一人の社会人として、心身ともに健康で、主体的に社会の変化に対応できる人材育成を目指して日々の教育活動を進めております。

また、校地は世界自然遺産白神山地を望む広大な敷地に立地し、全県一広い農地、先端的な総合学科棟を保有しています。地域の方々にも本校の教育活動を理解していただくために、季節に応じた農場の開放（菜の花畑・ひまわり畑・コスモス畑）や実習体験（蕎麦打ち体験、白神ネギの収穫体験）、福祉活動（福祉ボランティア）などを実践し、地域に信頼される、活力に満ちた魅力ある学校づくりに努めております。

こうした中、第七次秋田県総合整備計画の学校再編により、能代地区専門系統合高等学校（仮称）として、本校と秋田県立能代工業高校との統合が決定し、2021年（令和3年）4月開校に向けて準備が進められております。

今年度の入学生は、これまでの「総合学科」ではなく、大学科「農業科」として「生物資源・生活福祉」を2年間学び、3年次には統合校の新校舎に移り統合校第一期生として卒業することになります。

今年度から、「農業科」と「総合学科」が混在した形で、教育活動を展開しておりますが、これまでの「生徒一人一人を大切にしたいキャリア教育」を踏まえつつ、「生徒の主体性と自立心を育むキャリア教育」へと発展、シフトしていきたいと考えております。将来の夢に向かって生徒一人一人が社会的・職業的自立を果たすために、①主体的な学びを導く学習指導②規律ある生活と人思いやる生徒指導③生徒の可能性を引き出す特別活動指導を三本柱に据え、生徒の自己肯定感・自己有用感を育み、将来、地域に信頼され、地域社会に貢献できる人材を育てていきます。

この東雲大地に建つ能代西高校の校舎での学びは、後2年となりましたが、能代西高校が育んだ伝統を引き継ぎ、新時代への橋渡しをする重要な2年間となります。今後とも、保護者、同窓会さらには地域の皆様の御支援、御協力をお願い申し上げます。

平成31年4月

秋田県立能代西高等学校長 藤田 仁志

